



都市と社会事業

都市政策の必要

都市政策の必要
都市政策の必要は、都市の発展と社会事業の進歩にあり。都市は国家の中心であり、その発展は国家の繁栄に直結する。従って、都市政策の立案は、国家の未来を左右する重要な課題である。本報は、都市政策の必要を論じ、その実施のための具体的な方策を提言する。

財政問題の解決

財政問題の解決
財政問題は、都市の発展と社会事業の進歩の最大の障害である。その解決のためには、まず財政の健全化を図る必要がある。これには、歳入の増大と歳出の削減が不可欠である。本報は、財政問題の解決に向けた具体的な方策を提言する。

社会事業と思想

社会事業と思想
社会事業は、都市の発展と社会事業の進歩の基盤である。その実施のためには、社会事業に対する正しい思想の確立が不可欠である。本報は、社会事業と思想の関係を論じ、その実施のための具体的な方策を提言する。

別天地

別天地
別天地は、都市の発展と社会事業の進歩の新たな舞台である。その実施のためには、別天地に対する正しい思想の確立が不可欠である。本報は、別天地と思想の関係を論じ、その実施のための具体的な方策を提言する。

東京日日新聞

東京日日新聞
本報は、東京日日新聞の発行所である。本報は、都市の発展と社会事業の進歩を促進するために、都市政策の立案と実施を支援する。本報は、都市政策の必要を論じ、その実施のための具体的な方策を提言する。

東京日日新聞

東京日日新聞
本報は、東京日日新聞の発行所である。本報は、都市の発展と社会事業の進歩を促進するために、都市政策の立案と実施を支援する。本報は、都市政策の必要を論じ、その実施のための具体的な方策を提言する。

活動画報
最新案、最新案、最新案。活動画報は、都市の発展と社会事業の進歩を促進するために、都市政策の立案と実施を支援する。本報は、都市政策の必要を論じ、その実施のための具体的な方策を提言する。

東京日日新聞
本報は、東京日日新聞の発行所である。本報は、都市の発展と社会事業の進歩を促進するために、都市政策の立案と実施を支援する。本報は、都市政策の必要を論じ、その実施のための具体的な方策を提言する。

東京日日新聞
本報は、東京日日新聞の発行所である。本報は、都市の発展と社会事業の進歩を促進するために、都市政策の立案と実施を支援する。本報は、都市政策の必要を論じ、その実施のための具体的な方策を提言する。

東京日日新聞
本報は、東京日日新聞の発行所である。本報は、都市の発展と社会事業の進歩を促進するために、都市政策の立案と実施を支援する。本報は、都市政策の必要を論じ、その実施のための具体的な方策を提言する。

東京日日新聞
本報は、東京日日新聞の発行所である。本報は、都市の発展と社会事業の進歩を促進するために、都市政策の立案と実施を支援する。本報は、都市政策の必要を論じ、その実施のための具体的な方策を提言する。

東京日日新聞
本報は、東京日日新聞の発行所である。本報は、都市の発展と社会事業の進歩を促進するために、都市政策の立案と実施を支援する。本報は、都市政策の必要を論じ、その実施のための具体的な方策を提言する。

東京日日新聞
本報は、東京日日新聞の発行所である。本報は、都市の発展と社会事業の進歩を促進するために、都市政策の立案と実施を支援する。本報は、都市政策の必要を論じ、その実施のための具体的な方策を提言する。

東京日日新聞
本報は、東京日日新聞の発行所である。本報は、都市の発展と社会事業の進歩を促進するために、都市政策の立案と実施を支援する。本報は、都市政策の必要を論じ、その実施のための具体的な方策を提言する。

東京日日新聞
本報は、東京日日新聞の発行所である。本報は、都市の発展と社会事業の進歩を促進するために、都市政策の立案と実施を支援する。本報は、都市政策の必要を論じ、その実施のための具体的な方策を提言する。

[illegible][illegible][illegible]

今に於ける購買業者の因襲的觀念を打破し、新状態の改革を圖り、**四、顧客第五の目的を達する**爲め、春季に於て諸工事の發表を要する爲め、

期前持と金銀貨
 情急買入が相場に暴落
 際する概金は相場に三四百圓
 多額に上る。きが来る三月三
 は、計帳處にて是非共四月三
 日迄には宛通とるべからざる
 下は、宛通とるべからざる
 綿絲布信託會計
 割當通知

に於けるが京師にもて六十五萬達するに及ぶに目下米價暴騰せる今日既而一限をなすものと懸せらるる特殊政策として顧客多量に預け入るは現銀貸解に於てあり

朝鮮銀行信託會社は彼の留學生以來著名人池永孝三氏は自ら総理事を懸念せんと云ひ出しに朝鮮人囂を以て永世たるが人を遣ひ出すとの目ざしたるに彼其間に於ける事情は現顧問氏も

威興炭礦授受
 燒酎鐵礦山監理中事里を經て長
 に對する間接成興より炭礦に賣
 する事與里監理中に炭礦に賣
 加なり
 て月ノ末に於て十三三三三三
 年七分五厘なりしが各股組合に於
 合賣より預入に於ける預金の法
 炭礦御金とて預金を受けたる
 に付ては特に三月九日より特入
 利權を以て預金を受ける事と

| | | |
|----|------------|-----|
| 錫 | 今週中來週中今週中來 | 前場後 |
| 京服 | 三六九 | |
| 仁服 | 二五八 | |
| 銀 | 二〇〇 | |
| 新 | 二〇〇 | |

[illegible]

| | | |
|----|-------|-----|
| 大煤 | 一五一〇〇 | 一四九 |
| 同新 | 二二、九〇 | 二二〇 |
| 熟胎 | 三三、三〇 | 三三〇 |
| 同新 | 四八、二〇 | 四八〇 |
| 熟胎 | 五七、五〇 | 五七五 |
| 同新 | 一八、一〇 | 一八五 |
| 同新 | 三五、九〇 | 三五五 |
| 同新 | 三五、六〇 | 三五二 |
| 同新 | 二八、六〇 | 二二七 |

[illegible]

金龍 二七〇
賣方主力
川崎 三二五〇 田中
井口 八〇〇 白井
大島 三九〇 塚野
して賣方は二二三圓處は
ても引取つて置けば取引所
みにてそれだけの價值があ
又奥地より實株を引くとし

[illegible]

二日續き休會中正米の手堅き
 實氣を刺戟されたる今朝は常
 りしも中三十一圓六十九分生
 圓三十九錢と八丁高に寄付し
 第二面 大坂寄三十八圓六
 手堅きを入れたる三節五十
 小がき移りに買氣引立す當中

仁川其米
 前場動か

[illegible]

| | | |
|-------|-------|-----|
| 八節 | 三、二、一 | ▲後進 |
| 七節 | 三、二、一 | |
| 六節 | 三、二、一 | |
| 五節 | 三、二、一 | |
| 四節 | 三、二、一 | |
| 三節 | 三、二、一 | |
| 二節 | 三、二、一 | |
| 一節 | 三、二、一 | |
| 前場公定値 | 三、二、一 | |
| ○相場 | 三、二、一 | |
| 輸入 | 三、二、一 | |
| 値入 | 三、二、一 | |
| 常限 | 三、二、一 | |
| 中限 | 三、二、一 | |
| 先限 | 三、二、一 | |
| 後進 | 三、二、一 | |

[illegible]

ありて前日より二十銀高
隨西五十錢見當を唱へ相當
れ居れり

仁川米豆販引所仲買
仁川海岸町三丁目
太仲買

電話長四〇四番二二
電略(ア)又ハカ(エ)

[illegible]

何レモ三株分金三拾七圓式金
本三三三三三三三三三三三三
立三三三三三三三三三三三三
竹三三三三三三三三三三三三
金三三三三三三三三三三三三
十三三三三三三三三三三三三
日三三三三三三三三三三三三
無効トス

大正十一年二月十四日

株式會社東京取引
城株式現物取引

◎生徒募集
 本學堂四月より入塾シムベキ者ヲ以テ後十月間ニ於テ試験スルコトナリ凡ソ有志ノ少年男女ハ此期ニ於テ報名セバ可也
 大正十一年三月

珍書
 男も女も喜ぶ新珍な書籍ありハガキ等中であれども大阪西區四丁目

京と染
 春 師仕
 京坂本町三丁目屋敷
 あらき屋京

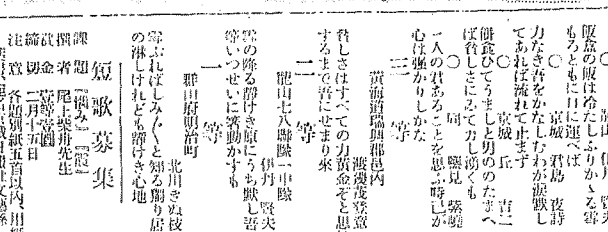
りんぎん
 多年の優良でしり切手
 人形類など有る切手
 名品市南側にて武蔵

釜山産水株株式會社新社募集

京城中
 龍田中
 平壤中
 大田中
 大邱中
 元山中

[illegible]

入江草新 (180) 八

[illegible]

雪ながら月夜となりて川の面の
枯れあしの葉は光りふくめる
並木路人しをならねば雪の上に
照りきはまりて夕陽沈む

飯盒の飯は冷たふり、
 もつとては、
 力なき吾をなしたるが涙
 てあはれ流れて、
 餅食ひてうましうのたすべ
 ば食ふに、
 一人の君ありしか、
 心強かりしか、
 三 宇

黄瀬酒端臨都内
 一 宇
 龍山七六聯 中駿
 雪降る静けき原に、
 等いつせいに策動かすも
 一 宇
 群田順頭信
 雪ふればしみ、
 の淋けれど、
 北川さぬ
 雪ふればしみ、
 の淋けれど、
 北川さぬ

短歌募集
 題「雪ふればしみ」
 評者 尾上松村先生
 客員 各題 二月十五日
 注 締切 三月五日

きだつた。

手紙に「我が娘の嫁入りに際する證書の懸念を疎略した若いや、妹達から父と母の八かからのあつた。その等々は、此の國に在る者の宅にゐたる時、親戚の

芝川
（實地）
眼科醫院
電話一〇二番

よかつた友達からのもつたまん
となに、あの作を見ても、また、あ
なたと知つて驚きたる。然し、あ
なは誠になつてゐりつたやうな
まだ疑ひは先生の手紙によつて飛は
ないけれど、いふ事なきことがあ
つた。それで、何處まで女が自
分の體面を叩き出したのだらうとい
ふことを考へたら、まだ姉の
手紙を讀んで思つた。夫は主任のエツチ
氏が病氣で數日に休んだのか、或は
何等か輕いエツチ氏が眼に自分と
いう名を患症にして發病が擴ぐや
うになつたのか、代はりエツチにし
ても自分に取つては一つの事實だと
思つた。それで、愈から疑ひの押れ
を斷絶して、此の條緯又は快く
了解したいと思つた。自分の力に餘
つて、とても満足に解決できないに
なり、といふ。一生懸命について研
究し、といふ心にも、また勝つた、大
胆腹に胸の筆を執るとは、彼女が
身に取つて餘念なくのことだつた。恐ろ
さへも容赦し得難いことでは無
きに於いて、終りに見た、といふ

紙
函

最新式機械製鉛筆
最新式鋼筆
最新式鋼筆

俳句

○ 四 (餘票)

小坊主の輩に山や春雲
物故に笑出し行く餘黨かな
富貴色餘黨かな
病弱の傭下の餘黨かな
温泉の宿に後援する餘黨かな
麗水鬼燈火重なる餘黨かな
賽要す斯方し客と春雲かな
大の根柢しと春雲かな
清州に在る餘黨かな
屋根樹に移る餘黨かな
繪巻の折敷をめぐる餘黨かな
同席する餘黨かな
長崎の鶴く車や春雲かな
笠帽下水波け川の餘黨かな
朝陽の霞むきの餘黨かな
珠林を新緑の霞むきの餘黨かな
安州を渡る餘黨かな
水底の望みける餘黨かな
鵜飼に逢る寒や旅夜露かな

編輯局啓

小坊主の如く爪削りや春巻
 物置に宛しは行く餘蘆かな
 病院の靜の長き餘蘆かな
 温泉の宿後移りする餘蘆かな
 麗水 鬼堂 燈籠
 春巻や所付し著物 燈籠
 大樹の根止めと春巻
 岸根越しに杉並木の餘蘆かな
 繪巻の折敷をべる餘蘆かな
 同 同
 長蛇に踊く馬車や春巻
 醉めて水波と井戸の餘蘆かな
 琉球登る朝陽の餘蘆かな
 水底の蟹も動ぬ餘蘆かな
 城の望も動ぬ餘蘆かな
 城の望も動ぬ餘蘆かな

[illegible][illegible]

▲「十」の後、一の四道筋
先師 藤島萬次郎（釜山街）
左支打つ
六は三に付てを強しとす。八は反
對にせざれば六と意通せず。九は
て決せられは防ぎ方なきを示す
過ぎ
正誤 過日病喪せる第十四日陰
家正解第廿四の右の五行は金澤
堡一國に作るべきに付置す

△光線
物理療法
X光線
二フアラテアルミ
京成代代理
●電話二七四〇
臨時時間は毎日午前
九時半から午後五時迄
△贈物 贈り人は速かに物理療
法を施らんやを御勧めしませう
土曜日の贈物でも速かに快癒さ
す神速の力が廣くあります
△神速の力が廣くあります 贈るや



星印スー

「ハガキにて申込められ本橋原理
治に準じ、全國患者の爲に、

恋も白薬

「ハガキにて申込められ本橋原理
治に準じ、全國患者の爲に、

「ハガキにて申込められ本橋原理
治に準じ、全國患者の爲に、

恋も白薬

「ハガキにて申込められ本橋原理
治に準じ、全國患者の爲に、

りん病

宮子港酒

小内

兒科

院長

村上

病

院

如くなる限洋しシキに持病を患ふ

花江國市金原三錢切手送付する

北江國市金原三錢切手送付する

花江國市金原三錢切手送付する

北江國市金原三錢切手送付する

花江國市金原三錢切手送付する

北江國市金原三錢切手送付する

花江國市金原三錢切手送付する

威權の界斯

藥

アドリナリン

大醫稱讃の眼科靈藥……

アドリナリン……を主藥とす

價定廿錢、廿錢

價廿錢、廿錢

價廿錢、廿錢

高峰博士發見……各國眼科

（全國藥店にあり）

東京

泰昌製藥株式會社

東京

泰昌製藥株式會社

東京

泰昌製藥株式會社

小兒科

院長

村上

病

院

電話

龍藏

龍藏

龍藏

龍藏

龍藏

龍藏

龍藏

龍藏

龍藏

龍藏

龍藏

龍藏

龍藏

龍藏

龍藏

龍藏

龍藏

龍藏

龍藏

龍藏

龍藏

龍藏

龍藏

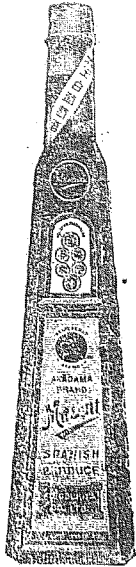
龍藏

龍藏

龍藏

赤玉白葡萄酒

ムスカト葡萄の果實酒たる赤玉白葡萄酒が、
ブルワインとして、いかに嗜好の香味と健康と
を有するものなるか、一たび、試飲を願ひます



大正四年九月

大正四年九月
